

平成22年元旦、在外研修のため、カナダのアルバータ州にあるドラムヘラーという小さな町に向かいました。今から約8千万年前にアジアと北アメリカの恐竜たちが往来したベリング海峽の上空をかすめ、その日の夕方にはカルガリーに到着しました。そこは一面の銀世界で、肺が凍りつくような空気の冷たさを感じました。

私が研修先に選んだ博物館は、ロイヤルティレル博物館。古生物を専門とする州立の博物館で、多くの恐竜化石を発掘し、研究しています。この博物館があるのがドラムヘラー。カルガリーから車で約1時間30分のところにあります。

恐竜時代への旅

第11話

アルバータの恐竜たち — ロイヤルティレル博物館 —



DATA

ロイヤルティレル博物館 古生物を専門とする自然史博物館。白亜紀後期の恐竜化石やカンブリア紀のバージェス動物群のコレクションが有名。



子育て日記



長女・はづきちゃん (6歳・右)
次女・麻央ちゃん (2歳・左)

仲良し姉妹は元気の源

この春、新1年生になる長女・はづきとずいぶんおしゃべりが上手になった次女・麻央。二人とも誰に似たのか？気分屋で、朝の忙しい時間は私も心に余裕がなくて、怒ってしまうこともしばしば…。ある時、麻央が「ねえねえ(はづき)がどーのこーの言うけんたい」と熊本弁で反論！私が発した一言を憶えて、麻央の最近の流行語になっています。余計なことは言えないな～と痛感しています。そんな姉妹ですが、どちらか一人が機嫌が悪いともう一人がなだめたりしてくれて頼もしい一面もあります。

私たち夫婦にとって娘たちの存在は何よりの起爆剤！仕事で嫌なことがあっても元気になる。またおじいちゃん、おばあちゃんの協力も本当に助かっています。これからも家族全員で二人の成長を見守りつつ、私自身も母親として成長していけたらと思っています。

(文・写真/松永望お母さん・滝尾)

Book 今月の本

欧亜純白I・II

大沢 在昌 著

1997年、香港返還前夜、激変する麻薬ビジネス。壮大なユーラシア大陸を舞台に、日米潜入捜査官の苛烈な闘いが幕を開ける！



ごめんね、ぼくが病気になるって

高見澤たか子 著

不確かな日々のなかで私たちはいつそう「夫婦」になっていく。夫の人生に「不意の客」が訪れた。介護する人、される人、年輪を重ねたすべての人に贈る、心打つ伴走の記。



ビロードうさぎ

マージェリウィリアムズ 著
ウィリアム・ニコルソン 絵
石井 桃子 訳

皮の馬はいいました。「子どもがながいながい間、そのおもちゃをただのあそび相手ではなく心からかわいがっていると、そのおもちゃは本物になる」って。

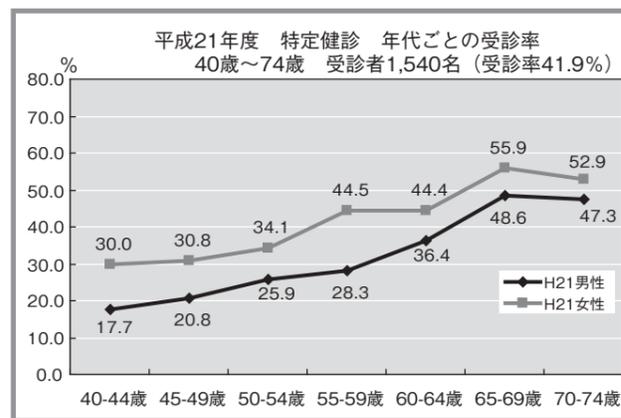
(木倉小・ヒッポの会)



「たくさんのふしぎ」300号記念復刻セット

福音館書店

1985年4月に創刊した月刊誌「たくさんのふしぎ」が300号を迎え、これを記念して読者からの復刊の要望が多かった7冊セットをお楽しみください。



40～74歳の国民健康保険加入者を対象に行った、平成21年度特定健診の受診率は約42% (1540人)、前年度の受診率約35%よりも高い結果となりました。

しかし、働き盛りの40代の受診が少なく、病気の治療中で健診を受けないといった人も多くみられ、受診

特定健診で身体を「チェック」

健康へのエント



率は依然として低い状態です。健診の結果では、医療機関への受診が必要と判断された項目は、男性の肝機能異常が最も多く、高血圧や脂質異常、高血糖といった病状が目立ちました。これは運動不足や不適切な食生活、喫煙、飲酒などの生活習慣が原因と考えられます。

町では、脳梗塞や腎不全のような生活に影響を与える生活習慣病が年々増加しています。これらの病気前には高血圧や高血糖、脂質異常など血管を傷つける変化が体内で起っています。怖いのは生活習慣病のほとんどが自覚症状がないことです。自覚症状がでるまで放っておくと、大きな病気を引き起す危険性が非常に高くなります。

特定健診では、そんな自覚症状がない状態でも血液や身体の変化を調べるができます。

平成22年度御船町特定健診は7月に実施しますので、対象者へは4月中旬に通知します。年に一度は必ず健診を受診して、身体の変化を自身で確認してください。